☆
　丁度、「わびあいの里」の30周年記念で、特別なプログラムも企画してくださり、ありがとうございました。
　高良先生の教育講演は、なるほどと思い当たる内容が含まれていて、とても考えさせられました。その後に続くシンポジウム。先輩や仲間お一人ずつのコメントに共感したり、学ばせていただきました。
　残念なことは、もう少し質疑応答の時間がほしかったです。あるいは、分団協議の枠を入れ、自分たちが今、直面している人権無視、憲法破壊・誤解釈、問答無用の権力行使に、阿波根さんの非暴力抵抗の精神を、どのように生かしていけばよいのか。絶望的になりがちな今日、どうやって私達が協力して、この難局を乗り越えていけるだろうか。そういう話し合いの時間がほしかったです。今後、実際、相手から敵意、暴力の危険性、権力の乱用場面にも、人間として相手に訴える、阿波根さんの生き方を実践しておられる方々のお話も聞きたいし、学ばせていただきたいと思いました。
　私達の強い思いをどのように次の若い世代へ伝えていくかは、緊急課題です。現在の教育（公・私・家庭を含め）制度のあり方。その中で、平和を造り出していく取り組みや実践も大切なテーマだと思います。又、隣人や地域の理解を得るには、どうすればよいのかの工夫も。
　数年前にも参加させていただきました。例年、この時期は、私達の総会の準備等で忙しく、伺えないでおりましたが、今年はどうしても参加したく、思い切って伺いました。お心のこもった準備と運営を感謝いたし、又、元気をいただいて帰郷します。

☆
・伊江島や高江の状況を簡単でも構わないので、書かれている物があると助かります。（工事の予定など）

　・講師の細やかなプロフィールなどは調べればすぐに分かる事。また、マニアックすぎるので、不要かと思います。

　・考え方、思想、人権意識の高揚はとても重要ですが、何故、基地、戦争経済が相も変わらず幅を利かせているかと言えば、貨幣経済の横行、洗脳（金がなければ生きられないという思い込み）によるものです。反基地、反戦の話は、経済とセットで話をしなければ根本的な解決に向かいません。「反対」とともに、雇用、地域活性化をどのようにするかを考え、提案していく運動を展開していく方が現実的です。ex)キャンプシュワブを返還した土地にエコツーリズム聖地をつくろう

・たとえば、ワークショップやグループワークを取り入れ、具体的な提案まで練れるような時間を設けてはいかがでしょうか（一日しか参加していないので、二日目に行われていたら、ただ知らないだけです。すみません）
　ex)日常生活の中で、「どのような行動が戦争経済につながっているか？」「どのような行動が、平和産業につながっているか？」

☆
　辺野古、高江、伊江島。そしてその動きにつながる安倍政権の動きを（日本の岐路）現地でしっかりと学ぶことができました。これを、京都で伝えていきたいと思います。ご準備、本当にありがとうございました。

☆
　沖縄の平和を求める活動は、まさに民主主義を自ら勝ち取って来ている。非暴力の実践として、それを行って来ている。主権者は国民。この確実な意識と行動をもって、活動をしていこうと思います。毎年あつい思いを心に与えられ、学ばせて頂いています。ここに

集う人の真剣さ、本気さを、これからも大切に、毎年集いを恵まれて行きたいと思います。

☆
　全国各地からおいでになっている点はすごいと思います。映画や長い歴史のたまものですね！講師陣も著名な（知人も）方々で、沖縄の話をいっぺんに聞けるのもありがたい。今日は、シュワブのテントに泊まる予定です。オスプレイやＦ３５のこともあり、地元での反対市民をどう増やすかが課題でしょうか？

☆
　約 10 年ぶりに参加しました。30 周年ということもあり、非常によくまとまった内容で、充実していたと思います。
　高良先生の法律的な意味での問題指摘は、知らないことが多く、勉強になりました。